指宿市考古博物館

時遊館（じゆうかん） CoCCo はしむれ

平成21・22年度

博物館年報・紀要

第9号

平成23年3月

指宿市教育委員会

事業報告編

平成 21 年度各事業の実施状況
1　博物館事業の部……1
2　後援・共催・協賛事業及び施設利用の部……5
3　発掘調査・整理作業の部……6
4　文化財保護管理の部……6
5　刊行物・研究活動の部……7

平成 22 年度各事業の実施状況
1　博物館事業の部……7
2　後援・共催・協賛事業及び施設利用の部……12
3　発掘調査・整理作業の部……12
4　文化財保護管理の部……12
5　刊行物・研究活動の部……12

紀要編

「指宿まるごと博物館」構想と現状について……13
下仙田寺鼻の石造物群の移設について……17

事業報告編

平成21年度　各事業の実施状況

平成21年度に実施した主な事業は，以下のとおりである。以下，その概要を記す。

1　博物館事業の部

（1）ゴールデンウィークイベント（4月29日～5月6日　体験者数123人）

勾玉作り・ペーパークラフト（兜作り・紙飛行機作り）・あんぎん編み体験・絵付け体験・キーホルダー作り・スーパー竹とんぼの6つの創作活動を実施した。

（2）学びのふるさと講座（全8回，聴講者数337人）

鹿児島国際大学と連携し，全8回の講座を実施，うち7講座を博物館で開催した。講座生を募集して参加を募るとともに，一般聴講者も参加できるものとした。

	開催日	テーマ	講　師	会　場	聴講者数
1	5月16日	薩摩琵琶から歴史、先人の美学を覗く	島津義秀（精矛神社宮司）	COCCOはしむれ	30人
2	5月30日	明治維新と徳川家の家名存続 ―篤姫のその後―	三木　靖 （鹿児島国際大学短期大学部名誉教授）	COCCOはしむれ	30人
3	7月4日	世紀の天文ショー -皆既日食がやってくる-	前田利久 （鹿児島県立博物館学芸主事）	COCCOはしむれ	160人
4	9月19日	バレエストレッチで夏バテ解消	岡元妙織 （岡元妙織バレエスタジオ）	COCCOはしむれ	25人
5	10月3日	地域の子育てを考える	前原　寛	COCCOはしむれ	31人
6	10月17日	ふるさとの星物語	前田利久 （鹿児島県立博物館学芸主事）	COCCOはしむれ	36人
7	12月5日	金管アンサンブルの楽しみ	―	鹿児島国際大学	11人
8	1月16日	ハラメ打ちとナレナレの習俗	増田勝機 （鹿児島国際大学教授）	COCCOはしむれ	14人
				合計	337人

（3）はしむれ日曜講座

市民を対象に指宿まるごと博物館構想推進の一環として歴史講座を開催した。

	日時	講座名	内容	講師	聴講者数
1	9月27日	薩摩と琉球の歴史	薩摩の琉球侵攻の歴史を紐解く	徳永和喜（黎明館調査資料室長）	21人
2	1月31日	指宿まるごと博物館「火山と大地の物語」	企画展「火山銀座探検の巻」にあわせ指宿の火山地形の特徴を紹介	渡部徹也	19人
3	3月14日	指宿まるごと博物館	「指宿」をはじめ市内にある地名の由来を紹介	中摩浩太郎	20人
				合計	60人

（4）ミニ企画展『楽器瓦器展』（6月23日～7月26日　入場者数560人）

「陶器で音楽を奏でる」をテーマに，音の出る様々な種類の陶器を来館者自身が自由に使い音の違いを感じてもらうことで楽器の特徴や歴史について興味関心を促す機会とする。

■企画・作品提供　　琴鳴窯（四元　誠）

■展示した陶製の楽器　銅鑼，木琴，マラカス，鈴，風鈴，シンバル，水琴窟をモチーフにした打楽器50点。

■関連イベント　　陶器の風鈴作り（はしむれ土曜体験館で実施）

楽器瓦器展ポスターと会場の様子
ポスター及び会場内のイラストは小田萌美作

（5）ミニ企画展『日食写真展』（7月4日～7月26日　入場者数474人）

今世紀最大の天文ショー皆既日食に合わせて写真展を開催した。また，学びのふるさと講座や日食めがね作り，日食観察会も一連のイベントとして実施した。

■日食観察会　7 月 22 日　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡　日食の観察，気温・植物・動物・昆虫の変化を観察。

日食写真展と日食メガネ作り，日食観察会の様子

（6）ミニ企画展「海の宝石　指宿の貝たち」（8月19日～8月31日　入場者数281人）

貝の名付け会の開催に合わせて，児童・生徒の学習支援に資するため，指宿近海の貝・奄美大島近海の貝など932種約1200点の標本を展示した。

海の宝石　指宿の貝たち

（7）第20回いぶすきシルバー美術展（8月2日～8月16日　入場　者数1,415人）

鹿児島県内在住の60歳以上の方々の絵画作品を公募し，一堂に展示するユニークな美術展である。創作活動の一般公開の場として，また，芸術文化の振興に寄与することを目的として平成2年度から開催。出展者数173人，226点の作品を展示した。

シルバー美術展

（8）学習支援活動

来館者に対する学習支援活動の他，博物館実習生や職場体験学習の受け入れ，市内各学校の総合的な学習の時間の支援等を実施している。実施状況は，次のとおりである。

平成21年度学習支援実績						
	月	日	曜日	学校名	人数	体験学習（記載のない団体は見学のみ）
1	4	11	土	志學館高等部	109人	
2		16	木	丹波小学校	88人	
3		28	火	川尻小学校	13人	消しゴム勾玉
4	5	13	水	内之浦小学校	26人	
5		14	木	笠野原小学校	48人	消しゴム勾玉
6				三股西小学校	141人	消しゴム勾玉
7				五十市小学校	121人	
8		15	金	川東小学校	47人	
9				柳田小学校	54人	
10		21	木	開聞小学校	39人	消しゴム勾玉
11		22	金	飯野小学校	84人	消しゴム勾玉
12				志和池小学校	50人	土勾玉
13				菓子野小学校	25人	
14		26	火	中種子三校合同小学校	26人	
15		27	水	国見小学校	17人	
16				伊津部小学校	58人	
17		28	木	佐多地区合同小学校	44人	
18				妻南小学校	91人	
19	6	19	金	前之浜小学校	10人	あんぎん
20	9	10	木	筑紫野中学校	8人	石勾玉
21				天拝中学校	18人	石勾玉
22		11	金	二日市中学校	35人	石勾玉
23				筑紫野南中学校	32人	石勾玉
24		17	木	大野東中学校	41人	石勾玉
25				勝岡小学校	52人	
26	10	9	金	田代中学校	14人	
27		15	木	大畑小学校	15人	消しゴム勾玉
28		16	金	指宿小学校	52人	昔の道具についての学習
29				今和泉小学校	22人	消しゴム勾玉
30		22	木	玖島中学校	45人	消しゴム勾玉・火おこし
31				三校合同小学校	44人	
32		23	金	頴娃小学校	44人	あんぎん
33		30	金	安久小学校	58人	石勾玉
34				魚見小学校	46人	消しゴム勾玉
35				喜入小学校	47人	石勾玉
36	11	5	木	丸野小学校	22人	土勾玉
37		17	火	香月小学校	64人	
38		25	水	末吉小学校	108人	
39		26	木	寿小学校	82人	
40	1	20	水	指宿養護学校	2人	
41		26	火	指宿高校	43人	
42	2	26	金	指宿養護学校	66人	石勾玉・消しゴム勾玉・キーホルダー作り・あんぎん
43	3	5	金	丹波小学校	39人	社会科見学
44		9	火	玉龍中学校	8人	石勾玉

出前授業・出前体験学習、職場体験学習						
	月	日	曜日	学校名	人数	内容
1	5	14	木	開聞高齢者健康クラブ	20人	あんぎん編み体験
2	5	17	日	鹿児島国際大学博物館実習	20人	展示・バックヤード案内
3	6	20	土	小川区子ども会	28人	消しゴム勾玉
4	6	22	月	開聞中学校	25人	伊能忠敬と指宿
5	7	22	水	魚見校区市民講座	39人	あんぎん編み体験
6	7	25	土	鹿児島国際大学	30人	講演「博物館の社会貢献」
7	8	1	土	今和泉校区子ども会	37人	石勾玉

8	8	7	金	池田校区郷中わくわく体験塾	20人	天文観察と夏の星座
9	8	10	月	フラワーパークかごしま	40人	星空観察会
10	8	18	火	よるのお話会と星空観察会	20人	指宿図書館出前講座
11	8	19	水	川尻保育園マンゴークラブ	12人	消しゴム勾玉
12	8	28	金	新西方保育園(学童)	30人	消しゴム勾玉
13	9	14	月	広島大学	1人	博物館実習生受け入れ（同月19日まで）
14	10	3	土	お月見とよるのお話会	40人	指宿図書館出前講座
15	10	4	日	留学生支援講座「指宿再発見の旅」	20人	火山地形の巡見
16	11	4	水	柳田小学校	60人	大地の作りと成り立ち（６年生出前授業）
17	11	11	水	川尻小学校6年生	22人	火山と大地のうごき
18	1	25	月	南指宿中学校	5人	職場体験受け入れ（同月29日まで）

（９）はしむれ土曜体験館

児童・生徒を対象に COCCO はしむれ友の会と連携しながら様々な体験学習を実施し，博物館活動の活性化を図るとともに集客の一助とする。

	日時	体験学習名	内容	人数
1	7月4日	日食メガネ作り	皆既日食に備え日食メガネ作りと見学練習	160人
2	7月18日	陶器の風鈴作り	『楽器瓦器展』関連イベント	25人
3	10月17日	森の香りのもの作り「どんぐりアート体験」	どんぐりや小枝を使ったハンドクラフト	52人
4	12月5日	ハッピーフライト折り紙飛行機を飛ばそう	５種類の折り紙飛行機を作成	15人
5	2月20日	まるで無重力！静電気クラゲの空中散歩	４種類の静電気実験。踊る紙人形、飛び跳ねる銀紙、動く発砲スチロール、静電気クラゲ	24人
6	3月20日	春の野草を天ぷらに	野草の天ぷらそばを試食	21人
			合計	297人

陶器の風鈴作り

どんぐりアート体験

出前授業風景

(10)企画展『指宿まるごと博物館Ⅰ　火山銀座探検の巻』の開催(12 月 20 日～平成 22 年 5 月 9 日　入場者数 3,356 人)

「指宿まるごと博物館」の考え方に基づき，自然・くらしと産業・歴史・民俗の４テーマで企画展を計画，５か年計画の１回目として指宿の自然遺産をテーマに企画展を開催した。

■展示構成

本市は，開聞岳や池田湖をはじめとする火山地形が密集して残り，国内有数の温泉地としても知られることから，「火山銀座」と通称されている。池田湖，鬼門平，鰻池，鏡池，温泉，山川港，山川石，知林ケ島，魚見岳，長崎鼻，竹山，開聞岳の 12 のポイントについて，その成り立ちと特徴，歴史的評価，関連する事象を取り上げた。

■関連イベント

1 月 17 日（日）　火山銀座探検ツアー　参加者 25 人　主催：地球の旅　協力：時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ

1 月 31 日（日）　はしむれ日曜講座「指宿の火山活動のはじまり」 参加者 28 人

3 月 13 日（土）　指宿火山の魅力と観光を考える講演会　参加者 66 人　主催：かごしま風景街道推進協議会指宿ブロック　共催：時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ・指宿商工会議所

展示状況

2　後援・共催・協賛事業及び施設利用の部

（1）時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ友の会活動支援

友の会の主な活動は下記のとおりである。各事業について連携しながら開催した。指宿まるごと博物館の推進と連動し，まち歩きを中心に学習活動を行った。

■山川港まち歩き「薩摩の海の玄関・山川港を訪ねて」（5月10日）　■指宿湊まち歩き「太平次のはからい」コース（5月24日）　■総会・二月田地区まち歩き「斉彬の休日」コース（6月21日）　■ふるさと学びの講座への参加（各回随時）　■加治木島津家史跡探訪（10月18日）　■春の野草を　天ぷらに（3月20日）

（2）展示会等の施設利用

■さつき展（5月19日～5月24日）　■須田勝仁・より子夫婦展 and 琳風会展（8月20日～8月31日）　■指宿市図画作品展（9月5日～9月13日）　■指宿市理科作品展（9月19日～9月23日）　■写真展「折々の花　折々の風景」（12月19日～12月23日）

（3）琉球と山川港の歴史を学ぼう交流400周年記念講演会

※10月24日はセントラールパーク指宿，それ以外は当館で開催。

	日　時	演　題	講　師
1	9月11日（金）	琉球出兵と山川港（アジア文化講座）	松下 尚明（郷土史家）
2	9月27日（日）	薩摩と琉球の歴史（はしむれ日曜講座と同様）	徳永 和喜（黎明館調査資料室長）
3	10月9日（金）	歴史ガイドの薩摩巡検（観光産業セミナー）	東川 隆太郎（かごしま探検の会代表理事）
4	10月24日（土）	薩摩と琉球の交易（温泉祭歴史講話）	原口 泉（鹿児島大学教授）
5	11月6日（金）	琉球文化の残影（アジア文化講座）	松下 尚明（郷土史家）

（4）第35回九州旧石器文化研究会鹿児島大会―九州における後期旧石器時代初頭の石器群を求めて―

■開催日　12月5日（土）・6日（日）

九州各県をはじめ全国から埋蔵文化財担当者や研究者が参加。九州の旧石器時代研究の最新成果が考古学や火山学，植物学など多方面から検討された。研究発表のあと現地見学，市内の露頭をはじめ，水迫遺跡や西多羅ヶ迫遺跡などを巡見した。

学会の様子

巡見の様子

3　発掘調査・整理作業の部

（1）市内遺跡確認調査

お茶の水女子大学鷹野光行教授を研究代表者とする科学研究費補助金「特定領域研究」『わが国の火山噴火罹災地における生活・文化環境の復元－九州を中心に－』の研究プロジェクトと共同し，敷領遺跡の確認調査をメインに開発対応に伴う遺跡の有無調査を実施した。

遺跡名	所在地	調査期間	面積	調査原因	主な遺構	主な遺物
敷領遺跡	指宿市十町2230	8月6日～10月5日	20㎡	遺跡範囲確認	西暦８７４年の開聞岳噴火で埋没した建物遺構を検出　遺構の状況から、簡易的な屋根構造を伴う作業場と推定	須恵器，土師器片
大園原遺跡	指宿市西方大当大園原	8月27日，28日	20㎡	体育館建設	西暦874年の畠跡	なし
山王遺跡	指宿市十二町山王平	12月11日～同16日	20㎡	官舎建設	なし	なし
森山遺跡	指宿市山川成川	9月17日	５㎡	道路拡幅	なし	なし

（2）平成 21 年度科学研究費補助金研究「わが国の火山噴火罹災地における生活・文化環境の復元」プロジェクト

表記の研究に協力し，敷領遺跡内での発掘調査地点の選定，調査準備等の協力作業を行った。同プロジェクトチームによる発掘調査の概要は次のとおりである。

■調査期間　8 月 18 日～8 月 30 日

■調査成果　平成 20 年度に検出された 874 年の開聞岳噴火で埋没した掘建柱建物跡を完掘した。

（3）広域営農団地農道整備事業に伴う水迫遺跡発掘調査

市道付け替え事業に伴い水迫遺跡の発掘調査を実施した。

■調査期間　6 月 25 日～平成 23 年 3 月 31 日

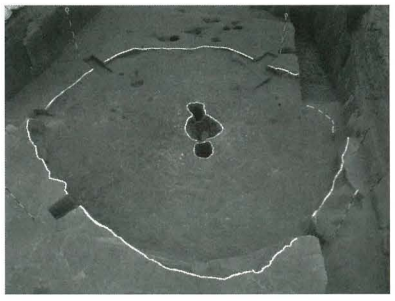
■調査面積　300 ㎡

■調査成果　弥生時代の竪穴式住居が発見されたほか，埋土中から管玉が 1 点出土した。

（4）広域営農団地農道整備事業に伴う西多羅ヶ迫遺跡発掘調査報告書作成（4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

平成 14・15・17 年度に実施した西多羅ヶ迫遺跡の出土資料の整理作業を実施した。

敷領遺跡検出の壇状遺構



水迫遺跡検出の竪穴住居

西多羅ヶ迫遺跡整理作業

4　文化財保護管理の部

（1）国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡買上事業

■目的　平成 7 年度に国指定史跡に追加指定された指定地の追加購入を行い，史跡の保存と活用に資する。

■内容　追加指定地 18，636.59 ㎡のうち，357.77 ㎡を購入した。文化庁と鹿児島県の補助事業である。

（2）指定文化財管理

文化財防火デー（平成 22 年 1 月 26 日）

揖宿神社，枚聞神社で，関係者他，地域住民の参加のもと防火訓練を実施，文化財保護活動の大切さについて理解・協力を求めた。

指定文化財等の保護

長勝院址石造物説明看板の設置，木造聖観音立像三体の説明看板修理，成川板碑，成川十一面観音坐像及び石殿の案内看板の新設を行った。

5　刊行物・研究活動の部

（1）平成 21 年度企画展図録『指宿まるごと博物館Ⅰ　火山銀座探検の書』

指宿の火山地形について，その成り立ちと特徴，歴史的評価等を紹介した。

（2）市内遺跡範囲確認調査発掘調査報告書刊行

平成 21 年度に実施した敷領遺跡等の確認調査に伴い遺跡の記録保存を行った。

（3）小学校校舎整備事業に伴う南丹波遺跡発掘調報告書刊行

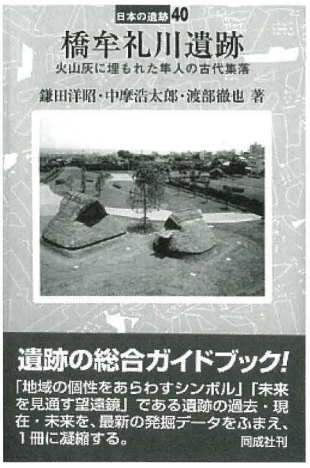
平成 19 年，20 年に実施した南丹波遺跡の発掘調査に伴い遺跡の記録保存を行った。

（4）日本の遺跡シリーズ「橋牟礼川遺跡―火山灰に埋もれた隼人の古代集落―」刊行

（5）学会発表

日本旧石器学会　6 月 27 日・28 日　発表者：鎌田洋昭　演題：「九州の後期旧石器初頭の石器文化について」

隼人文化研究会　12 月 19 日　発表者：中摩浩太郎　演題「橋牟礼川遺跡と敷領遺跡 - 古代指宿　隼人前後の拠点集落 - 」



橋牟礼川遺跡（2010 同成社）

平成 22 年度各事業の実施状況

平成 22 年度に実施した主な事業は，以下のとおりである。以下，その概要を記す。

1　博物館事業の部

（1）ゴールデンウィークイベント（4 月 29 日～5 月 5 日　体験者数 230 人）

勾玉作り・あんぎん編み体験・絵付け体験・キーホルダー作り・オリビン採集等の創作活動を実施するとともに，はしむ連隊ＣＯＣＣＯレンジャーが日替わりで体験学習の支援にあたった。

（2）学びのふるさと講座（全７回　聴講者数 253 人）

鹿児島国際大学と連携し，全７回の講座を実施，うち６講座を博物館で開催した。

回	開催日	テーマ	講師	会場	聴講者数
1	4月24日	指宿地域の火山地形とその特色	福島大輔（桜島ミュージアム館長）	COCCOはしむれ	33人
2	5月22日	鹿児島論について	菊地　裕幸（鹿児島国際大学教授）	COCCOはしむれ	49人
3	6月12日	音楽教育（リトミック）と子育て	牧角玲子・前原寛（鹿児島国際大学教授）	COCCOはしむれ	18人
4	7月10日	考古学と文献から見た奈良時代の生活	永山修一（ラ・サール学園教諭）	COCCOはしむれ	40人
5	9月18日	バレエストレッチ	岡元妙織（岡元妙織バレエスタジオ）	COCCOはしむれ	52人
6	10月9日	島津斉彬と指宿・今和泉の関わり	松尾千歳（尚古集成館副館長）	COCCOはしむれ	17人
7	12月4日	キャンパスコンサート	―	鹿児島国際大学	15人
				合計	253人

（3）はしむれ日曜講座（聴講者数 135 人）

市民を対象に指宿まるごと博物館構想推進の一環として歴史講座を開催した。

	日時	講座名	内容	講師	聴講者数
1	1月16日	「指宿まるごと博物館　指宿の産業　水産編」	指宿の水産業、かつお節製造の歴史を紹介	中摩浩太郎	22人
2	2月13日	「指宿まるごと博物館　指宿の産業　観光編」	指宿の観光史を振り返る内容	渡部徹也	22人
3	3月6日	「指宿まるごと博物館　指宿の産業　温泉編」	指宿の温泉、砂むし温泉の特徴を紹介	鎌田洋昭	22人
				合計	66人

（4）ミニ企画展『海の宝石いぶすきの貝たち』（7月4日～7月28日　入場者数 1,329 人）

貝の名付け会の開催に合わせて，児童・生徒の学習支援に資するため，いぶすき近海の貝・奄美大島近海の貝など 932 種約 1,200 点の標本をミニ企画展として展示した。

パネルをリニューアルした他，指宿のどの海岸でどんな種類の貝殻が採集できるかを紹介した。また，展示期間中ヤドカリを水槽で飼育した。

（5）サテライト展示

ＪＲ指宿駅前に開設された指宿情報プラザ内においてサテライト展示を行った。

■4月27日～7月31日

「火山銀座探検の巻」写真展，篤姫・濵﨑太平次パネル展，指宿まるごと博物館マップの展示

■8月1日～8月31日

「海の宝石　いぶすきの貝たち」ミニ展示

■9月1日～10月30日　「池田湖の成り立ち」ミニ展示　■11月4日～12月15日　手の平サイズの博物館「鹿児島やきものコレクション」（琴鳴窯：四元誠主催）　■12月16日～　「イニシエノイロドリ展」（琴鳴窯：四元誠主催）

「火山銀座探検の巻」写真展

「いぶすきの貝たち」ミニ展示

「池田湖の成り立ち」ミニ展示

鹿児島やきものコレクション

なお，「火山銀座探検の巻」写真展については，指宿図書館，山川図書館，休暇村指宿でも行った。

（6）第 21 回いぶすきシルバー美術展（8月8日～8月22日　入場者数 1,168 人）

鹿児島県内在住の 60 歳以上の方々の絵画作品を公募し，一堂に展示するユニークな美術展である。創作活動の一般公開の場として，また，芸術文化の振興に寄与することを目的として平成２年度から開催しており今年度で 21 回目を迎える。出展者数 158 人，202 点の作品を展示した。

（7）学習支援活動

来館者に対する学習支援活動の他，博物館実習生・職場体験学習の受け入れ，市内各学校の総合的な学習の時間の支援等を実施している。実施状況は，次のとおりである。

平成22年度学習支援実績（23年1月末日現在）

	月	日	曜日	学校名	人数	体験学習（記載のない団体は見学のみ）
1	5	11	火	三校合同小学校	45人	
2		12	水	大和村合同小学校	44人	
3		13	木	内之浦小学校	25人	
4				五十市小学校	112人	
5		14	金	柳田小学校	66人	弥生～古墳時代の学習
6		19	水	笠野原小学校	31人	消しゴム勾玉
7		21	金	妻南小学校	104人	
8				丹波小学校	107人	
9		25	火	伊津部小学校	61人	
10		26	水	南界小学校	24人	石勾玉
11				国見・川上小学校	26人	石勾玉
12		27	木	種子島合同小学校	35人	消しゴム勾玉
13				寿小学校	110人	
14		28	金	青戸小学校	42人	
15	6	2	水	湾小学校	44人	消しゴム勾玉
16		29	火	前之浜小学校	12人	石勾玉
17	7	15	木	勝岡小学校	57人	
18				三股西小学校	119人	
19	8	25	水	錦江湾高校	21人	
20	9	8	水	那珂川中学校	23人	石勾玉
21		15	水	筑紫野中学校	37人	石勾玉
22		17	金	平野中学校	79人	石勾玉
23				天拝中学校	23人	石勾玉
24		22	水	御陵中学校	24人	石勾玉
25	10	1	金	四校合同小学校	26人	消しゴム勾玉
26		7	木	指宿小学校	60人	社会科見学
27		15	金	沖水小学校	161人	
28				宮脇小学校	46人	石勾玉
29				今和泉小学校	17人	石勾玉
30		20	水	末吉小学校	112人	
31		21	木	玖島中学校	29人	石勾玉
32				三校合同小学校	31人	
33		22	金	生見小学校	14人	消しゴム勾玉
34		27	水	桜ケ原中学校	71人	消しゴム勾玉・火おこし
35		29	金	喜入小学校	46人	石勾玉
36	11	11	木	丸野小学校	14人	
37		12	金	飯野小学校	80人	
38		19	金	菓子野小学校	27人	
39	1	28	金	指宿高校	42人	

出前授業・出前体験学習、職場体験学習

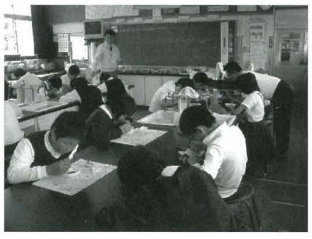
	月	日	曜日	学校名	人数	体験学習
1	5	13	木	利永小学校	2人	石勾玉・火おこし
2	5	19	水	開聞高齢者健康クラブ	24人	石勾玉
3	6	5	土	鹿児島国際大学	5人	博物館実習
4	6	19	土	西岡児ケ水子ども会	14人	キーホルダー作り
5	6	22	火	西指宿中学校	9人	指宿まるごと博物館へようこそ
6	6	23	水	山川中学校	55人	指宿まるごと博物館へようこそ
7	8	3	火	西南学院大学	1人	博物館実習受け入れ（同月13日まで）
8	8	7	土	魚見校区市民講座	20人	消しゴム勾玉・火おこし
9	8	7	土	今和泉校区公民館世代間交流キャンプ	25人	オリビン採集体験・火おこし
10	8	20	金	指宿図書館	20人	星空観察会
11	9	10	金	鹿児島国際大学	1人	インターンシップ生受け入れ（同月17日まで）
12	9	17	金	柳田小学校	30人	４年生　古い道具と昔の暮らし

13	9	22	水	浜東西子ども会	30人	星空観察会
14	10	14	木	西指宿中学校	30人	指宿観光ツアーを企画しよう
15	10	22	金	県高等学校教育研究会地理歴史公民部会	25人	指宿市の歴史と火山のフィールドワーク
16	10	27	水	川尻小学校	20人	オリビン採集体験・地層、火山についての学習
17	12	19		鹿児島国際大学	7人	博物館実習
18	1	19	水	井出方集落すこやかサロン	17人	石勾玉
19	1	22	土	鹿児島大学	20人	博物館実習
20	1	24	月	南指宿中学校	4人	職場体験学習受け入れ（同月28日まで）
21	2	19	土	小川区子ども会	15人	石勾玉・あんぎん編み体験
22	2	24	木	南指宿中学校	100人	総合的な学習の時間「指宿トリビア講座」
23	3	3	木	南指宿中学校	100人	総合的な学習の時間「指宿観光ツアー作り」

（8）はしむれ土曜体験館

未就学児童・児童・生徒を対象に COCCO はしむれ友の会と連携しながら教育普及活動の一環として下記の体験学習を実施した。

	日時	体験学習名	内容	人数
1	8月21日	夏の星座の物語「星空観察会」	星空観察会	34人
2	9月11日	びっくり！チョコレート火山噴火実験	チョコレートやココアを使って火山噴火の仕組みを学ぶ体験学習	22人
3	11月27日	ﾊｯﾋﾟｰﾌﾗｲﾄ紙飛行機を飛ばそう！	５種類の折り紙飛行機を作成	17人
4	2月5日	まるで無重力！静電気クラゲの空中散歩	４種類の静電気実験。踊る紙人形、飛び跳ねる銀紙、動く発砲スチロール、静電気クラゲ	22人
			合計	95人



川尻小学校出前授業

南指宿中学校出前授業

チョコレート火山噴火実験

静電気実験

（9）指宿まるごと博物館推進のための講演会・フィールドワーク支援等

	日　時	内　容	講師・支援者
1	5月29日（土）	いぶすきジオパーク研究会フィールドワーク支援（魚見岳・知林ヶ島・宮ヶ浜コース）	渡部徹也
2	6月24日（木）	指宿地区法人会女性部会講演「ようこそ指宿まるごと博物館へ」	渡部徹也
3	7月16日（金）	指宿中央自動車学校職員研修講演「ようこそ指宿まるごと博物館へ」	渡部徹也
4	7月17日（土）	いぶすきジオパーク研究会「火山銀座探検ツアー」支援	渡部徹也
5	8月19日（木）	倫理法人会研修講演「ようこそ指宿まるごと博物館へ」	中摩浩太郎
6	8月20日（金）	JR指宿駅前まち歩き研修「太平次コース」	中摩浩太郎
7	8月27日（金）	柳田小学校教職員フィールドワーク校区文化財巡り	鎌田洋昭　渡部徹也
8	9月18日（土）	いぶすきジオパーク研究会「いぶすきフローツアー」支援	渡部徹也
9	10月26日（火）	指宿ロータリークラブ講演「ようこそ指宿まるごと博物館へ」	中摩浩太郎
10	11月３日（水）	柳田校区文化講演会「濵﨑太平次について」	中摩浩太郎
11	11月13日（土）	生涯学習推進大会「さあ、はじめよう！指宿まるごと博物館」	中摩浩太郎
12	2月25日（金）	指宿史談会講演「濵﨑太平次について」	中摩浩太郎

（10）丹波小学校郷土資料室のプロデュース

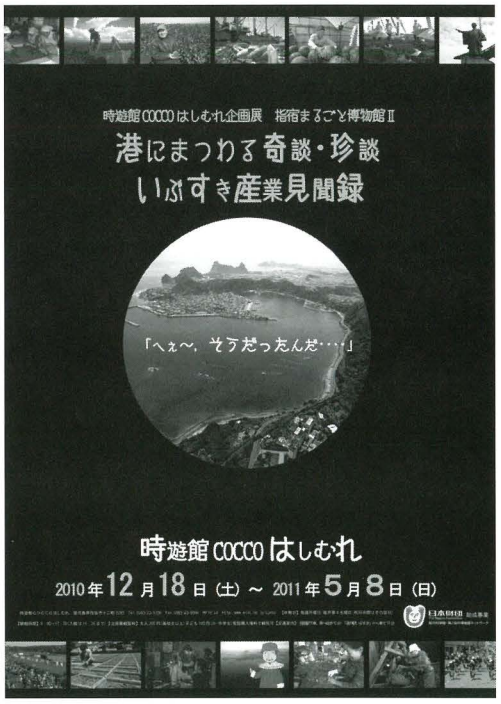
平成 22 年９月から開校する丹波小学校新校舎内の郷土資料室の展示を行った。展示品は，旧校舎に所蔵されていた民俗資料，校舎新築に伴い実施した南丹波遺跡の発掘調査で出土した資料である。

郷土資料室の展示状況

（11）企画展『指宿まるごと博物館Ⅱ　港にまつわる奇談・珍談　いぶすき産業見聞録』

（平成 22 年 12 月 20 日～ 23 年５月８日）

企画展５か年計画の２年目にあたる今回の企画展では，海からもたらされた文物，港にまつわる歴史，そして，そこから派生した様々な産業について，関連する逸話や昔話などを交えながら紹介し，指宿の産業史から地域の魅力・特徴を再発見することを目的とした。



■展示構成

第１章　海に囲まれたまち－いぶすき－

①地質学，海洋学から見た指宿の海と海岸線の特徴，②指宿の海と昔の人々，遺跡との関わりを紹介。

第２章　海が織りなす景勝地　－観光産業の発展－

指宿の景勝地や温泉が，観光産業の資源として活用され，本市の発展を支えてきた歴史を振り返る。

第３章　国際貿易港から藩港へ　－山川港をめぐって－

山川漬，薩摩焼，サツマイモ，焼酎，カツオ節など鹿児島を支える多様な産業が発展し，現在も続けられている状況を紹介。

第４章　薩摩を支えた海運業　－豪商たちの活躍－

濵﨑太平次や河野覚兵衛らの豪商の足跡をたどる。

第５章　黒潮の恵みと産物　－塩業と農業－

そら豆やオクラなどの農業，かつて行われていた塩業を紹介。

■関連イベント

はしむれ日曜講座の開催（全３回）

企画展の開催期間中，入館者には茶ぶし試飲サービスを実施。

展示状況

2　後援・共催・協賛事業及び施設利用の部

（1）時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ友の会活動支援

平成 22 年度の主な活動は次のとおりである。

■総会・指宿駅前太平次関連史跡めぐり（6 月 19 日）　■学びのふるさと講座・はしむれ日曜講座への参加

■垂水島津家まち歩きツアー（10 月 16 日）　■開聞地域まち歩き（2 月 20 日）

（2）篤姫のひなまつり（平成 23 年 2 月 27 日～3 月 31 日）

観光かごしま大キャンペーン推進協議会が主催する肥薩線全線開通 100 周年関連イベント「篤姫のひなまつり」に参加し，館所蔵の雛人形・土人形の展示を行った。

（3）展示会等の施設利用

■さつき展（5 月 17 日～5 月 23 日）　■理科作品展・図画作品展（9 月 4 日～9 月 22 日）　■山川写楽クラブ写真展（11 月 19 日～ 11 月 23 日）　■親子展（人形展　11 月 18 日～ 11 月 21 日）等

3　発掘調査・整理作業の部

（1）市内遺跡確認調査

敷領遺跡の確認調査をメインに開発対応に伴う遺跡の有無調査を実施した。

遺跡名	所在地	調査期間	面積	調査原因	主な遺構	主な遺物
敷領遺跡	指宿市十町	1月21日～2月15日	30㎡	遺跡範囲確認	帯状遺構（874年段階），ピット，道跡（古墳時代），カーボン集中範囲を検出	須恵器，土師器片

（2）広域営農団地農道整備事業に伴う西多羅ヶ迫遺跡・水迫遺跡整理作業

平成 14・15・17 年度に実施した西多羅ヶ迫遺跡の出土資料，平成 21 年度に実施した水迫遺跡の出土資料の整理作業を実施した。平成 23 年度に報告書の刊行を予定している。

4　文化財保護管理の部

文化財防火デー（23 年 1 月 26 日，30 日）

関係者他，地域住民の参加のもと，桜井神社，枚聞神社で防火訓練を実施，文化財保護活動の大切さについて理解・協力を求めた。

指定文化財等の保護

旧正龍寺墓石群，小川六地蔵幢，山川薬園跡及びリュウガン，木造千手観音坐像の標柱，方柱板碑を中心とする民俗神群，縄状玄武岩の説明看板，　旧正龍寺墓石群，河野覚兵衛墓石群の案内板の修繕を行った。

5　刊行物・研究活動の部

（1）『指宿まるごと博物館Ⅱ　港にまつわる奇談・珍談　いぶすき産業見聞録』展示図録刊行

指宿の観光，温泉，水産業，観葉植物栽培，塩業，農業，幕末の海運業等を紹介。

（2）平成 22 年度市内遺跡範囲確認調査報告書刊行

平成 22 年度に実施した敷領遺跡等の確認調査に伴い遺跡の記録保存を行った。

（3）指宿まるごと博物館マップの作成

企画展に伴い，市内の文化財，自然遺産等を掲載したフィールドミュージアムマップを作成した。

（4）学会発表

隼人文化研究会　7 月 10 日（土）　発表者：渡部徹也　演題「敷領遺跡について」

古代種子研究会　2 月 26 日（土）　発表者：中摩浩太郎　演題「指宿市周辺における火山罹災地域の状況」

「指宿まるごと博物館」構想と現状について

1　はじめに

平成 18 年 10 月，指宿市第一次総合振興計画に市民の意見を反映させるため，市民と市職員の総勢 90 人が参加する「まちづくり夢現塾」がスタートした。10 の部会で 6 か月間にわたる意見交換と討議がなされ，平成 19 年 3 月，提言書「共生・協働で ‘夢，実現 !! みんなで描いた指宿プラン」が提出され，その中には，文化遺産や自然遺産を活かしたまちづくりへの提言が随所に見られた。

提言のポイントは，①地域の歴史遺産・自然遺産をその地域の中で継承していくこと，そしてそれらを観光客など外部の人々に知ってもらうことが「まちづくり」につながる。②その手立てとして，講座や体験学習の開催，マップ作成やガイド養成といったソフト事業の展開と施設や道路，解説板設置などのハード整備が必要である。の 2 点に要約された。これを鑑み，時遊館 COCCO はしむれでは，平成 20 年に「指宿まるごと博物館」構想を策定し，その実現に向け館活動を展開している。以下に，「指宿まるごと博物館」構想の概要と平成 23 年 3 月時点での現状をまとめてみたい。

2　「指宿まるごと博物館」構想とは

本市には，現在，70 件の指定文化財（国指定 3・県指定 6・市指定 55・国登録有形文化財 6 件），38 の郷土芸能保存会（うち未加盟 9），124 か所の遺跡がある。他にも多数の歴史遺産・自然遺産（ほとんどは観光地）が点在し，地域には伝統行事が継承されている。

「指宿まるごと博物館」は，指宿市全体を博物館と見立てて，市域にある文化財，自然，産業，施設，郷土芸能，伝統技術，伝統行事，イベントなどのすべてを貴重な展示品と位置づけ，それらを市民共有の財産として，守り・育て・継承していくシステムを作り，市の活性化を図ろうという考え方，またはその実践のことである。フィールドミュージアムの理念と同様であるが，行政・民間・地域住民が協働して，指宿に残る多くの魅力的な文化遺産や自然遺産を再認識し，将来に継承していく気運を高めるために，市域をいくつかのフィールドに分け，それぞれのエリアで物語性豊かな「まち歩き」を実施することを基本とする。そのためには，観光関係者，商工関係者，地域との連携が不可欠である。平成 20 年以降，企画展・体験学習・講座・出前授業等の館活動をすべて「指宿まるごと博物館」構想の一つに位置づけ，行っている。

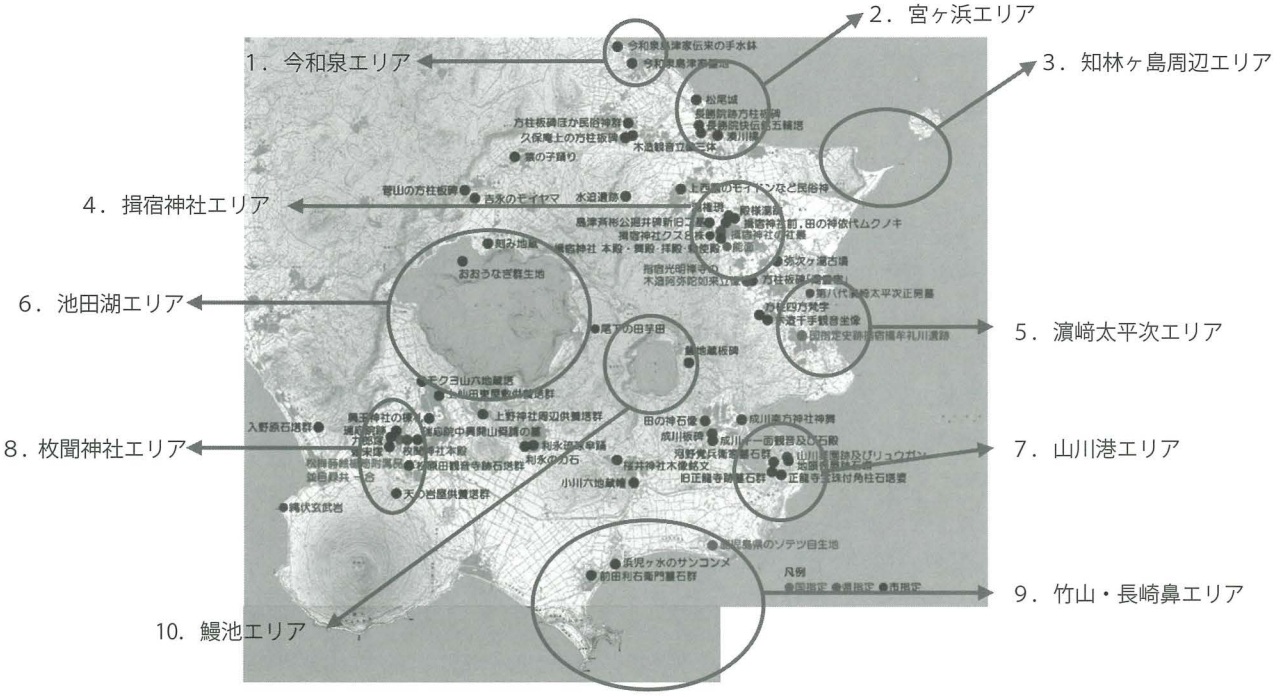


図 1

3　各フィールドと「まち歩き」の現状

平成 20 年，NHK 大河ドラマ「篤姫」の放送で，本市今和泉地区に残る篤姫ゆかりの史跡を訪ねて多くの観光客が来市した。放送開始に伴い（社）指宿市観光協会内には「篤姫観光ボランティアガイド」が組織された。案内ルートの設定，ガイド育成等で当館も携わった。篤姫観光ボランティアガイドは，JR 薩摩今和泉駅を拠点に活動，平成 22 年度までに 13 万人を超える観光客を案内している。

この成功をきっかけに，各地で地域の文化財や歴史に対する関心が高まり，まち歩きガイド発足の後押しにもなった。以下に，図 1 に示した 10 のフィールドの特徴とまち歩きガイドの関係をまとめる。

	エリア	特徴	ガイド会等の状況
1	今和泉エリア	篤姫，篤姫の生家「今和泉島津家」にゆかりの史跡が多数存在　観光コースとして定着	篤姫観光ボランティアガイドが活動中
2	宮ヶ浜エリア	６件の国登録有形文化財をはじめ，松尾城址ほか史跡も多数ある大正・昭和のまちなみを中心に地域を散策するコースができている	宮ヶ浜公民館を中心にまち歩きマップを作成すでにまち歩きも試行している平成23年度にガイド養成を実施予定
3	知林ヶ島周辺エリア	知林ヶ島・魚見岳の自然，指宿海軍航空基地跡や防空壕等の戦争遺跡など素材は多数ある	パークボランティアが中心となって，知林ヶ島の自然観察会が行われているいぶすきジオパーク研究会も自然体験ツアーを実施
4	揖宿神社周辺エリア	揖宿神社，殿様湯，二反田川の堤防など島津家関連の史跡が集中して存在する	当館で「斉彬の休日」と題したまち歩きコースを試案友の会と連携してまち歩きを行った
5	濵﨑太平次エリア	濵﨑太平次ゆかりの史跡を巡るまち歩きコースができている	まちおこしグループ「たまらんプロジェクト」による夕暮れ散歩でまち歩きを実践また「濵﨑太平次ガイド会」も発足，平成23年３月から活動予定
6	池田湖エリア	指宿を代表する観光地　池田湖・大ウナギの他，馬頭観音，刻み地蔵等史跡も多い	池田湖水フェスティバルなどのイベントを行政が実施また，いぶすきジオパーク研究会もツアーを行っている平成23年３月には「池田湖ガイド会（仮称）が発足池田湖周辺の２ｋｍ程度のコースを案内予定
7	山川港エリア	中世から国際貿易港として栄え，江戸時代には藩港となった山川港3つのまち歩きコースがある	平成21年，まちづくり団体「元気な山川まちづくりの会」が運営する「いっど，いっが，山川港の会」が発足ボランティアガイドとして活動中
8	枚聞神社エリア	池田湖と並ぶ指宿の景勝地開聞岳を中心に，薩摩一の宮枚聞神社から玉の井に至る神話と伝説に彩られたまち歩きコースがある	「開聞伝え歩きの会」が発足神話・伝説を交えながらの史跡めぐりを行っている
9	竹山・長崎鼻エリア	竹山・長崎鼻の景勝地はもとより，たまて箱温泉（露天風呂），山川地熱発電所など見所満載のエリア	いぶすきジオパーク研究会がツアーを実施
10	鰻池エリア	秘湯としても人気があり，西郷隆盛ゆかりの史跡もある隠れ家的なスポット	いぶすきジオパーク研究会がツアーを実施ガイド養成に向けて準備中

いっどいっが山川港の会によるまち歩きの様子

濵﨑太平次まち歩きの様子

篤姫観光ボランティアガイド発足式の様子

開聞伝え歩きの会によるまち歩きの様子

宮ヶ浜地区のまち歩きの様子

いぶすきジオパーク研究会によるジオツアーの様子

表にあるように今和泉・山川エリアについては，ガイド会がすでに活動し，まち歩きの実績がある。宮ヶ浜エリアについては，同自治公民館が地域の人々，北指宿中学校と協力しながらまち歩きマップを作成，平成 23 年度からガイドの養成に入る計画である。池田湖エリアについては，平成 23 年 2 月，池田湖ガイド会（仮称）が発足，まち歩きの準備，ガイド研修を独自で進めている。開聞エリアについては，開聞伝え歩きの会が活動を始めた。濵﨑太平次エリアについては，平成 22 年度，まちおこしグループ「たまらんプロジェクト」が「夕暮れ散歩」というネーミングで，JR 指宿駅周辺の商店街も含め，まち歩きを実施してきている。平成 23 年 3 月からは，濵﨑太平次ガイド会が発足し，まち歩き

が引き継がれる。鰻池エリアについては，（社）指宿市観光協会がガイド養成を計画しており発足に向かう予定である。指宿神社周辺エリアについては，当館でまち歩きコースを作成，友の会とともに実施した経験があり，ガイドの養成ができればスタートできる。知林ヶ島については，鹿児島パークボランティアの会が自然観察会を行っているほか，休暇村指宿が宿泊者に対して，施設周辺のガイド付き散歩を行うなど，今後，「指宿まるごと博物館」の1コースに発展する素地は十分にできている。この知林ヶ島周辺エリアを含め，竹山・長崎鼻エリア，開聞岳，池田湖など火山地形を結んだ広域のツアーについては，平成22年度，いぶすきジオパーク研究会が実施しており，平成23年度には，ジオガイドの養成を計画している。

4　指宿まるごとガイド会の発足

こうしたまち歩きの活発な動きが契機となって，平成23年3月10日，（社）指宿市観光協会の中にある「魅力あるまちづくり観光促進協議会」が中心となって，各ガイド会の1本化を目指し「指宿まるごとガイド会」が発足した。参加団体は，篤姫観光ボランティアガイド会，濵﨑太平次ガイド会，開聞伝え歩きの会，池田湖ガイド会の4団体である。今後，参加希望の団体があれば受け入れていく方針であるという。

事務局は，同協議会に置き，JR指宿駅内の観光案内所で，ガイド予約を1本化して受け，各ガイド会に受け入れの連絡調整を図る。当面は，各ガイド会の「守備範囲」の中でガイド活動を行うが，将来的には，どこでも案内できるよう研修を積んでいくという。また，各ガイド会のメンバーにはジオガイドをしてみたいという希望者も多く，いぶすきジオパーク研究会と連携したガイド養成が望まれるところである。

5　当館の役割

前述の各ガイド会のほか，市内には複数のNPO法人や社会教育関係団体，COCCOはしむれ友の会など，まちづくりに関与している団体が多い。ガイド会も含めて，各団体の活動を支援する具体策として，①文化財，自然，産業，施設，郷土芸能，伝統技術，伝統行事，イベントなどに関する情報を各団体のニーズに応じてわかりやすく整理して提供する。②まち歩きのストーリー，コース策定を各ガイド会とともに考える。③博物館での講座やワークショップ，企画展などの館の事業をとおしてPRの支援をする。④ガイド養成講座を行う。⑤新たな指宿の魅力的な資源を掘り起こし，他の資料との関連や地域との関係を明らかにする。などの業務があげられる。

6　今後の課題

「指宿まるごと博物館」の実践においては，館活動はもちろん，自然体験や文化財を活用した青少年教育等の社会教育事業，学校教育での活用等，多方面にわたるアプローチと継続が不可欠となる。また，九州新幹線鹿児島ルート全線開業に伴い新たな観光施策が求められる中，近い将来，市の各地で展開される「まち歩き」が魅力ある観光商品となればと観光関係者の期待も募る。

今和泉エリアにおいては，大河ドラマ「篤姫」というスポットライトが突然あたり，地元関係者の努力はもちろんではあるが，メディアの力も相まって一気に認知されていった経緯がある。現在，各地で地域の歴史や自然を見直そうとする動きは，前述のとおり「篤姫効果」の一つである。しかし，篤姫以外の地域の資源には，大河ドラマという国民的メディアの光はおそらくあたらない。地域で地域の魅力に自ら気付き，その魅力を伝えていく地道な活動を続けることが鍵となる。今，まさに，地域や他団体，関係機関と連携を深めていく地域博物館のコミュニケーション能力が問われている。

前記した①～⑤の業務を継続することが「指宿まるごと博物館」構想を進める第一歩と認識し，今後の館活動を行っていきたい。

下仙田寺鼻の石造物群の移設について

1　石造物群の由緒：旧峰山寿福寺関連石造物等

（旧峰山寿福寺は，旧頴娃町にあった島津久豊が開基した禅寺の平源山証音寺の末寺。証音寺は，島津家菩提寺の福昌寺の末寺）

2　所在地：指宿市開聞下仙田寺鼻

3　石造物群の移設の経緯

①　現状の確認

平成22年9月28日，開聞支所の中間竜郎支所長から，下仙田地区の土地の竹藪を払ったところ石造物群が現れたこと，同地は隣接する民間の葬儀場建設地の一部と交換予定のため石造物群を移設する必要があること，そのため，事前に現状の確認と石造物群の評価をしてほしいとの連絡があった。社会教育課文化係の渡部・鎌田が現地に行き，中間支所長，開聞地区文化財ガイドの川畑氏，川平葬祭の川平雅樹氏の立会いのもと現状を確認した。

石造物群は，『開聞町郷土誌　改訂版』に「下仙田寺鼻の石造物」として掲載されている周知の文化財で，廃仏毀釈で廃寺となった旧峰山寿福寺に関連する供養塔や板碑，無縫塔等であった。中には，「大日如来」と彫られた大型の石塔や，中心に穴が穿孔され石塔に「大」と彫られた大日如来の信仰に関わる石造物もあった。

写真のとおり，石造物群は，同地に集められ整然と配置されていたようだが，いつからか竹藪に覆われるようになった。供養塔や墓前には，現代の湯のみや花瓶があることから，最近まで地域住民によって管理されていたらしい。周辺住民からも同様の話を聞くことができた。

なお，石造物群の北側には，用水路をはさんで 1 段高くなった畑がある。この畑の土手にも石造物と同じ石材の角柱や石造物の一部と見られる破片が散見できたことから，周辺土中には他にも寿福寺関連の文化財が埋没しているものと推定される。

確認された石造物は，67 点であった。内訳は次のとおりである。五輪塔の部品は，空風輪 16 点，火輪 3 点，水輪 3 点，地輪 2 点。墓石関係は墓石 3 点，台座 2 点。手水鉢 2 点。無縫塔関係は，塔身 3 点，台座 1 点。板碑関係は，板碑 1 点，台座 1 点。家形石塔は屋根 1 点，塔身 1 点，台座 2 点（同一個体）。「奉造立」銘塔 1 点。石灯籠関係は笠 1 点，袋 1 点，竿 1 点，基台 1 点。板状供養塔 1 基，自然石を用いた石塔 5 点。大日如来石仏像 1 個。不明な台座 8 点。何かの石造物の破片と考えられるものが 6 点。

②　文化財保護審議会による巡見

平成 22 年 10 月 19 日に開催された指宿市文化財保護審議会で，石造物群の巡見を行い，各文化財保護審議会委員（岩﨑裕氏・上村俊雄氏・平畑卓氏・森田秋弘氏・藏薗治己氏）から現地指導を受けた。

石造物群の歴史的・文化財的価値を踏まえ，隣接する交換先の土地へ移設し保存することで文化財保護審議会の了承を得た。また，当日，立会いをした中間支所長から川平氏にその旨が報告された。

③　石造物の組み合わせ作業

12 月上旬までに石造物群はひとまず隣接地に仮置きされた。

仮置き場から交換先の土地へ移設する前に，多数の破片や石造物を本来の組み合わせに戻す必要があったため，平成 23 年 2 月 16 日，岩﨑裕氏の助言を得ながら，社会教育課文化係の中摩・鎌田で石造物の組み合わせを検討した。

③　移設作業

平成 23 年 3 月 4 日，川平氏，中間支所長，中摩・鎌田の立会いのもと移設作業が行われた。移設作業，移設先の整備については，川平葬祭の全面的な協力を得た。なお，移設後の石造物の配置は，西から順に次のとおりである。

石灯籠１基,「奉造立」銘塔１基,板碑１基,大日如来石造１体,塔婆を彫った板状供養塔１基,家形石塔１基,無縫塔３基,五輪塔２基，墓３基,「大日如来」と彫られた石塔１基とその脇に自然石が１基。また，板碑の背後には,「大」と彫られた大日如来石塔１基，自然石を用いた石塔３基を配置した。

さらに，これらの石造物の後ろに，五輪塔の空風輪を 14 点，火輪１点，水輪片２点，その他の破片３点を配置した。

今回，下仙田寺鼻の一角に集められていた旧峰山寿福寺関連の石造物群が，川平葬祭の協力のもと隣接地に移設され，保存されることとなった。石造物群は，指定こそされていないが，地域の貴重な文化財である。今後も地域で大切に守り続けられることを願うと同時に，文化財保護行政を推進するためにも，地域の文化財の掘り起こしや文化財保護の啓発活動に努めていきたい。

参考文献

「一．塔婆を彫った板状供養碑群　３下仙田寺鼻の供養碑」第六編　史と景に富む開聞　第二章　文化財　第五節　その他の石塔　『開聞町郷土誌改訂版』1001 頁

「三. 下仙田寺鼻の石塔群」第六編　史と景に富む開聞　第二章　文化財　第五節　その他の石塔　『開聞町郷土誌改訂版』1003 ～ 1004 頁

「（４）仙田村の寺堂　○旧峰山寿福寺（下仙田西元）」第五編　教育文化の振興　第三章　宗教　第三節　寺院　二．廃仏毀釈前の寺院　『開聞町郷土誌改訂版』881 頁

移設前

移設前

仮置き・組み合わせ作業

仮置き・組み合わせ作業

移設作業

移設後

移設後

移設後

追記

平成 21，22 年において，下記の物件が新たに市指定文化財として指定された。

指宿文書 20 点	有形文化財	指定年月日	平成 21 年 3 月 13 日
枚聞神社琉球扁額 7 点	有形文化財	指定年月日	平成 22 年 1 月 6 日
宮ヶ浜のアコウ	天然記念物	指定年月日	平成 22 年 1 月 6 日

指宿市考古博物館
時遊館CoCCoはしむれ
平成21・22年度
博物館年報・紀要

平成23年3月発行

発行：指宿市考古博物館
指宿市十二町2290
TEL 0993-23-5100　FAX 0993-23-5000

印刷：野田印刷
指宿市十町247-3
TEL 0993-22-4141　FAX 0993-24-5416